日本天文学会　2021 年秋季年会のアンケート結果

日本天文学会　年会実行委員会

2021 年秋季年会は，9月13日(月)から 15日(水)の 3日間，京都産業大学にて開催予定であったが，新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し，完全オンラインでの開催とした．日本天文学会年会として 3 回目のオンライン開催であった. 以下に年会後に実施したアンケートの結果について報告する．

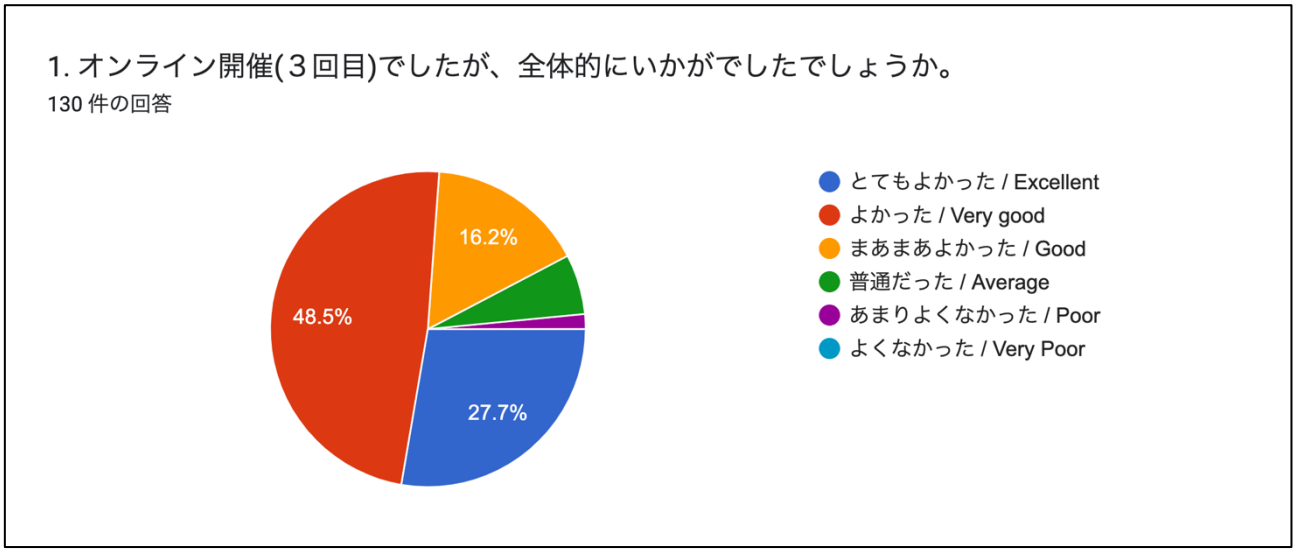
アンケートは 2021 年秋季年会の参加者を対象として Google フォームで実施し、講演者と視聴者を分けて集計した．アンケートの回答数は以下であった．

講演者回答数：130 件
視聴者回答数： 91 件

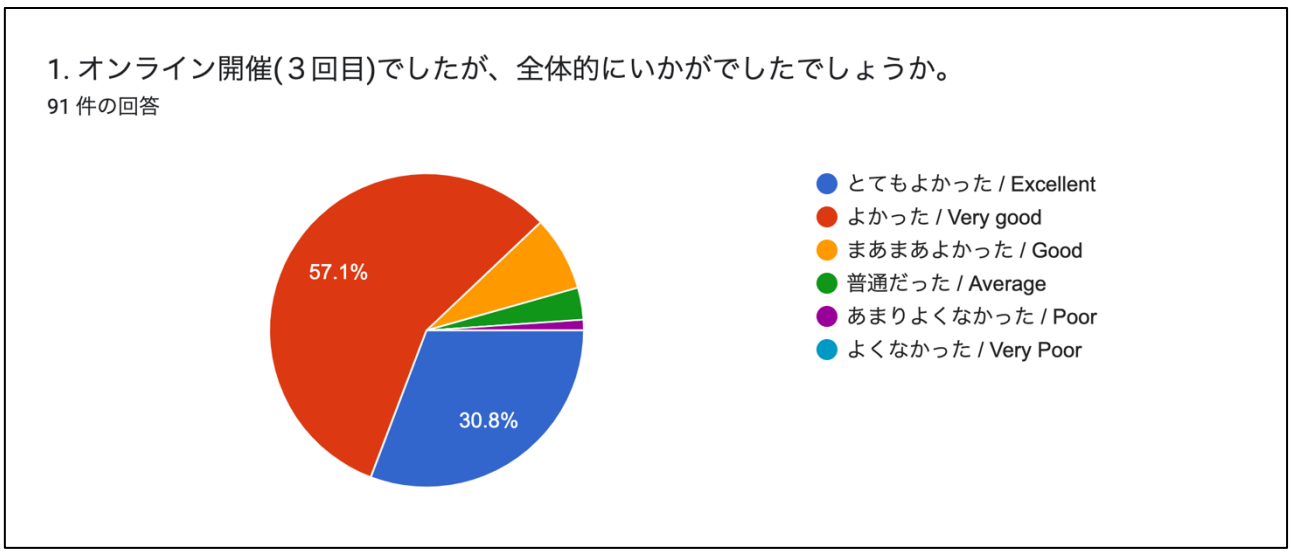
次ページから個々の質問の結果について概要を報告する．

1. オンライン開催(３回目)でしたが、全体的にいかがでしたでしょうか。

講演者の回答

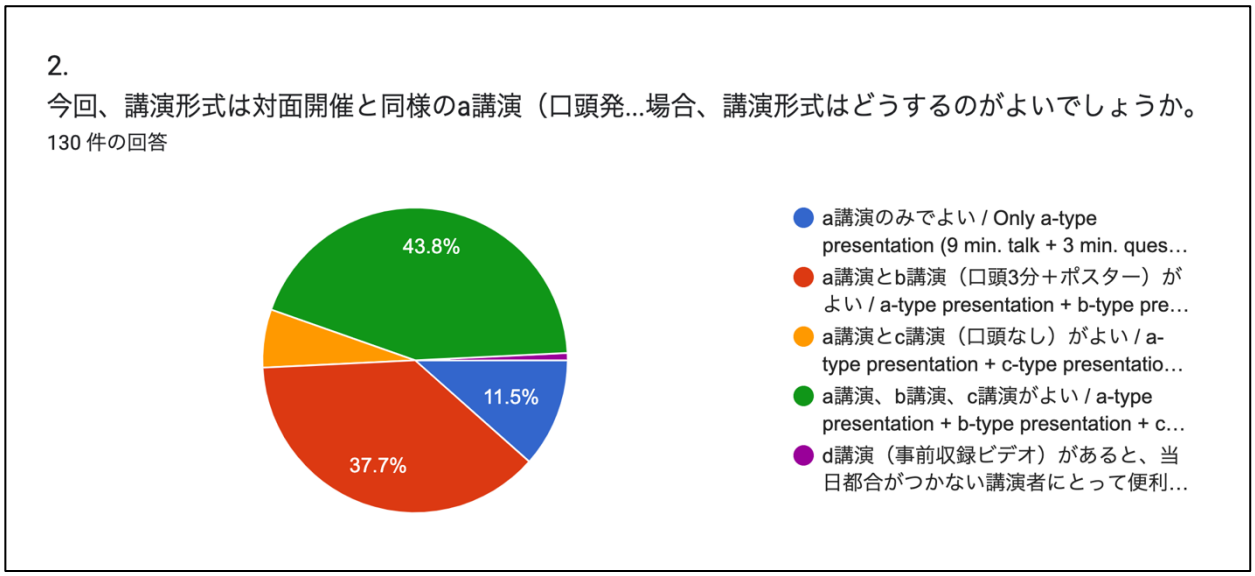


視聴者の回答

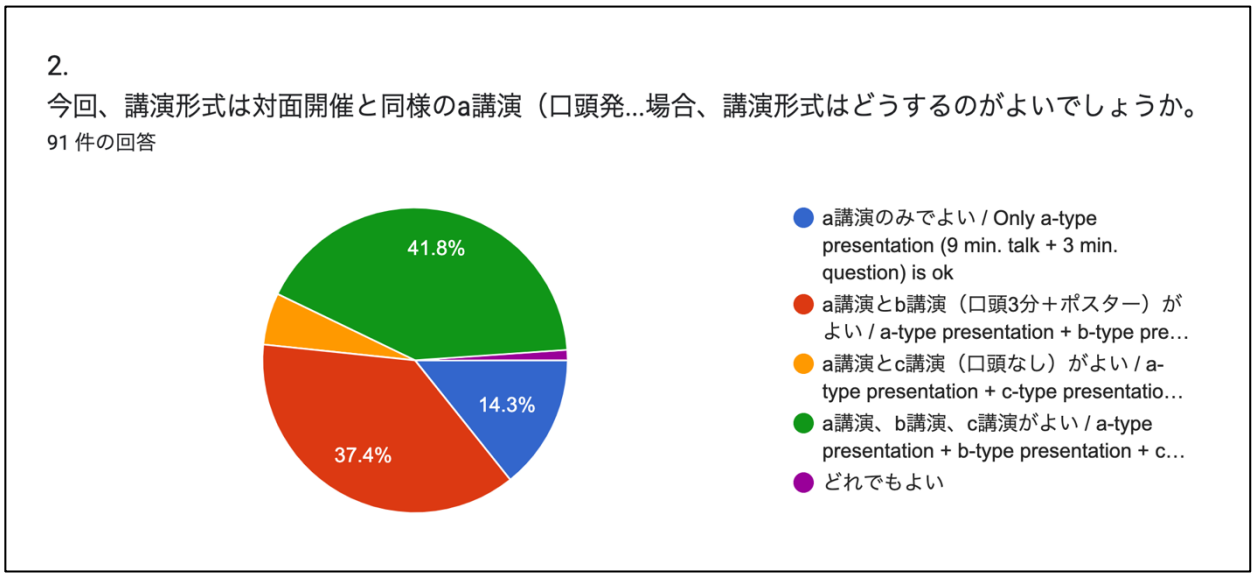


2. 今回、講演形式は対面開催と同様の a 講演（口頭発表）・b 講演（３分＋ポスター）・c 講演（ポスター）で行いました。もし今後オンライン開催が行われる場合、講演形式はどうするのがよいでしょうか。

講演者の回答

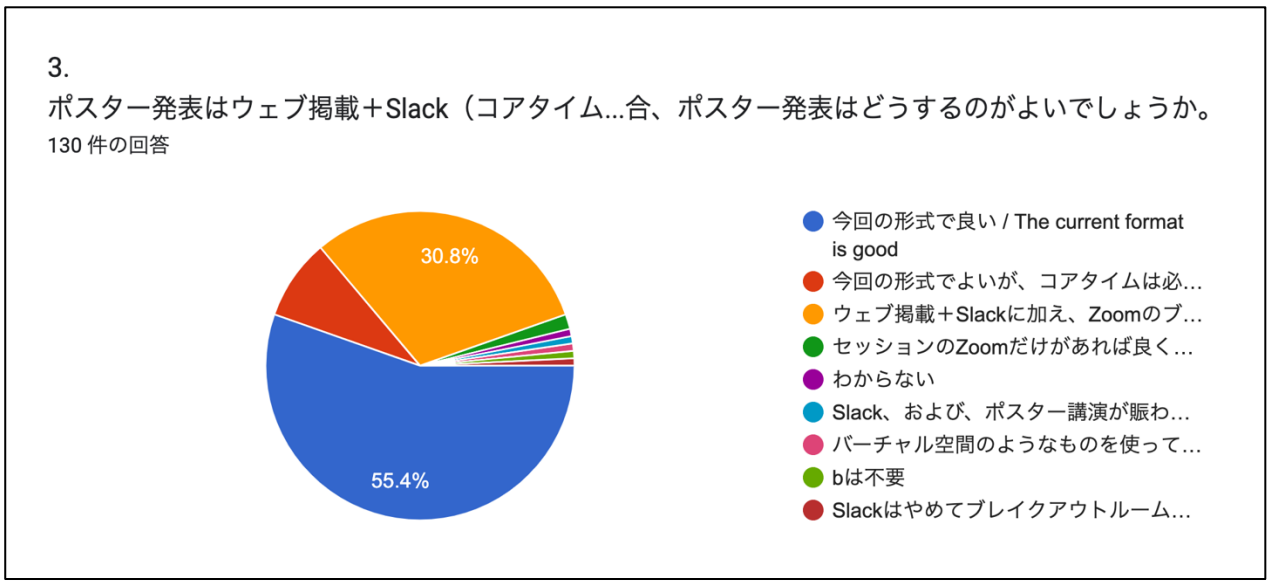


視聴者の回答

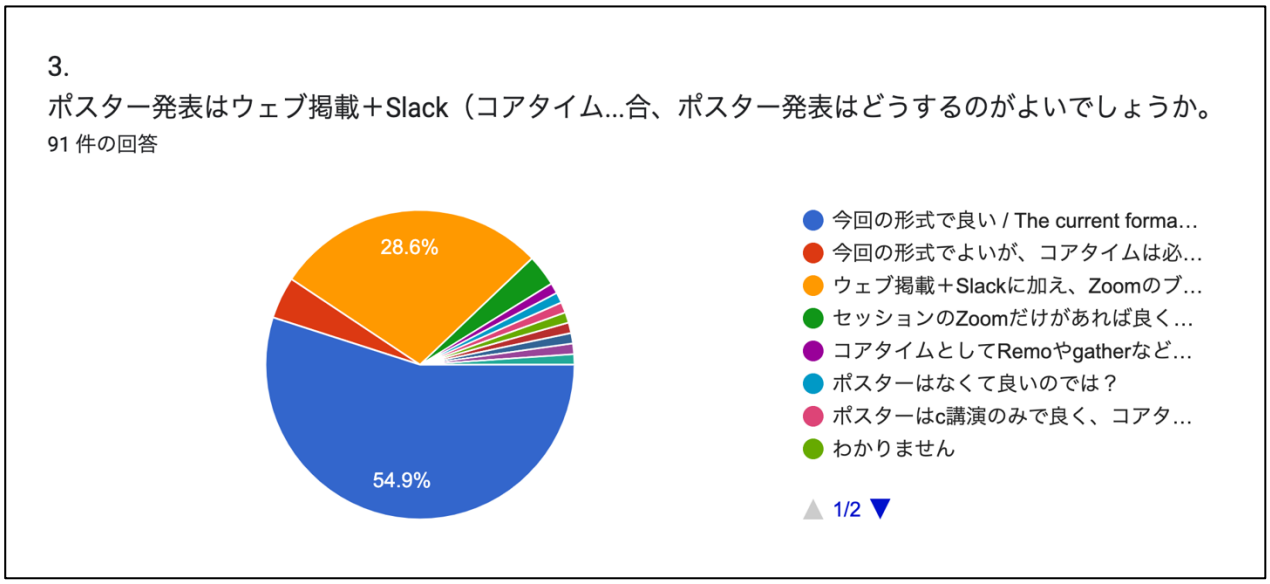


3. ポスター発表はウェブ掲載＋Slack（コアタイムあり）という形式で行いました。もし今後オンライン開催が行われる場合、ポスター発表はどうするのがよいでしょうか。

講演者の回答

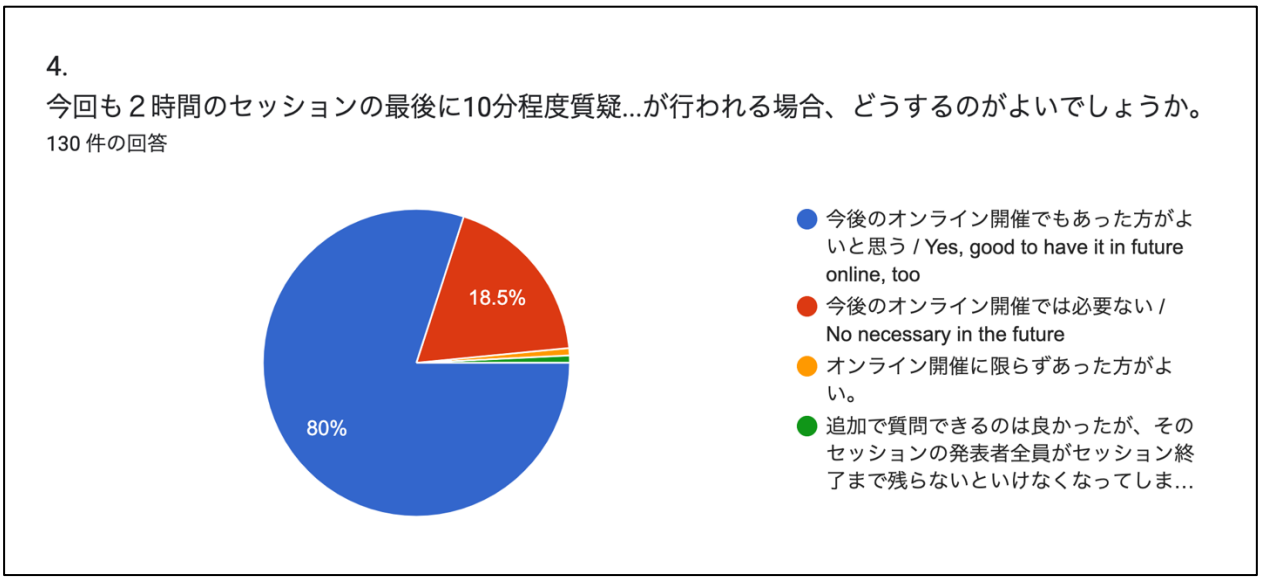


視聴者の回答

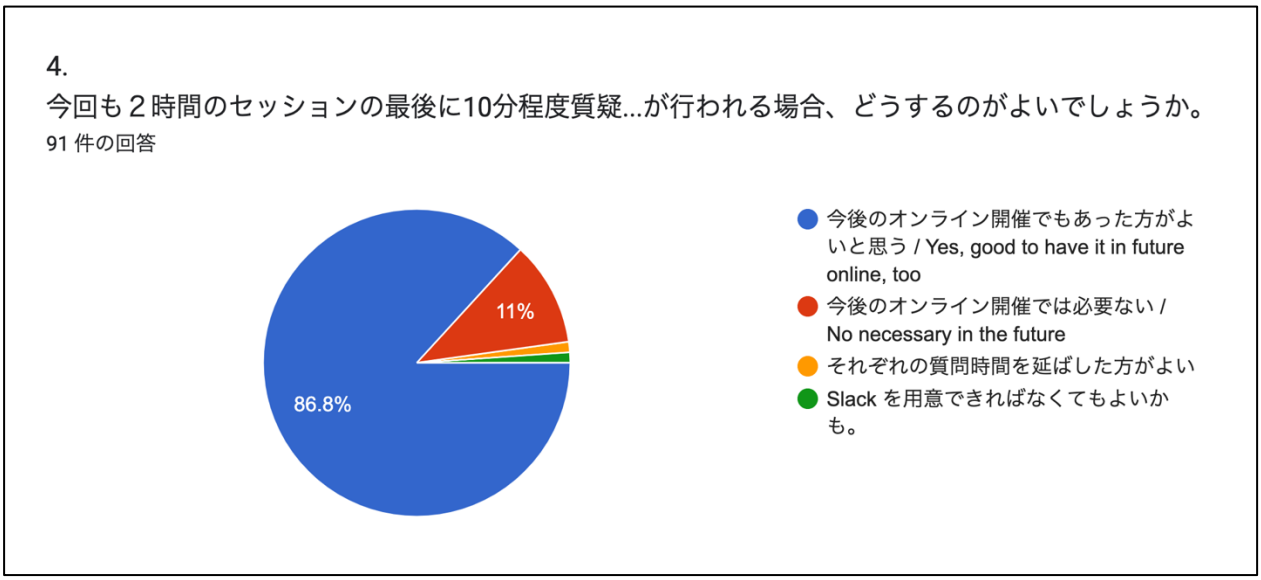


4. 今回も２時間のセッションの最後に 10 分程度質疑応答の時間を設定しました。もし今後オンライン開催が行われる場合、どうするのがよいでしょうか。

講演者の回答

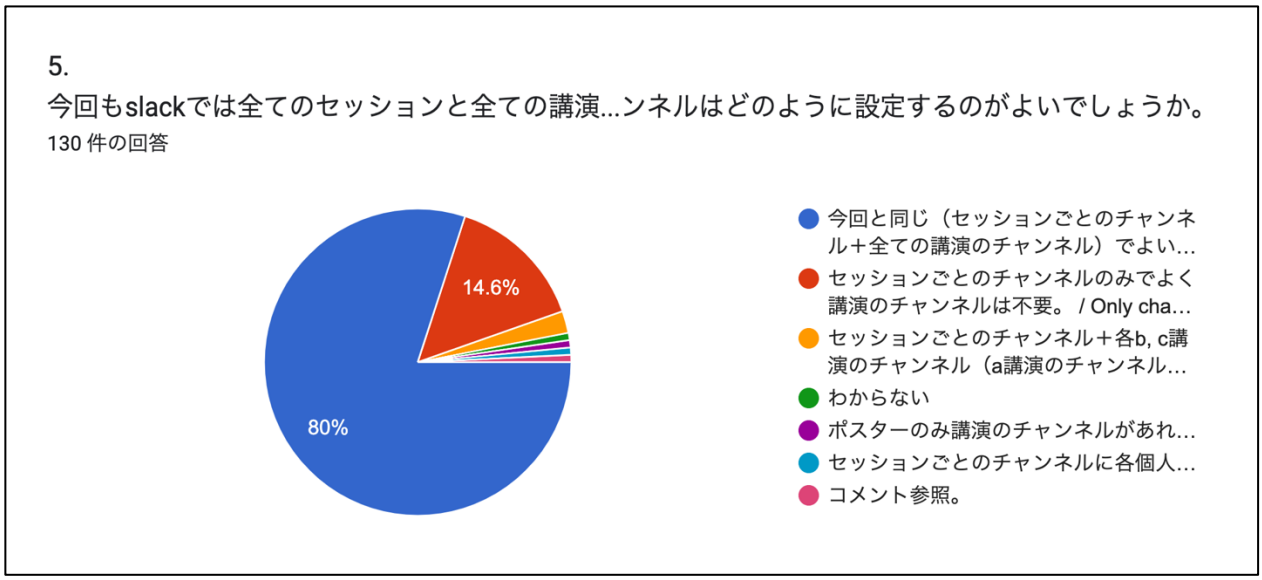


視聴者の回答

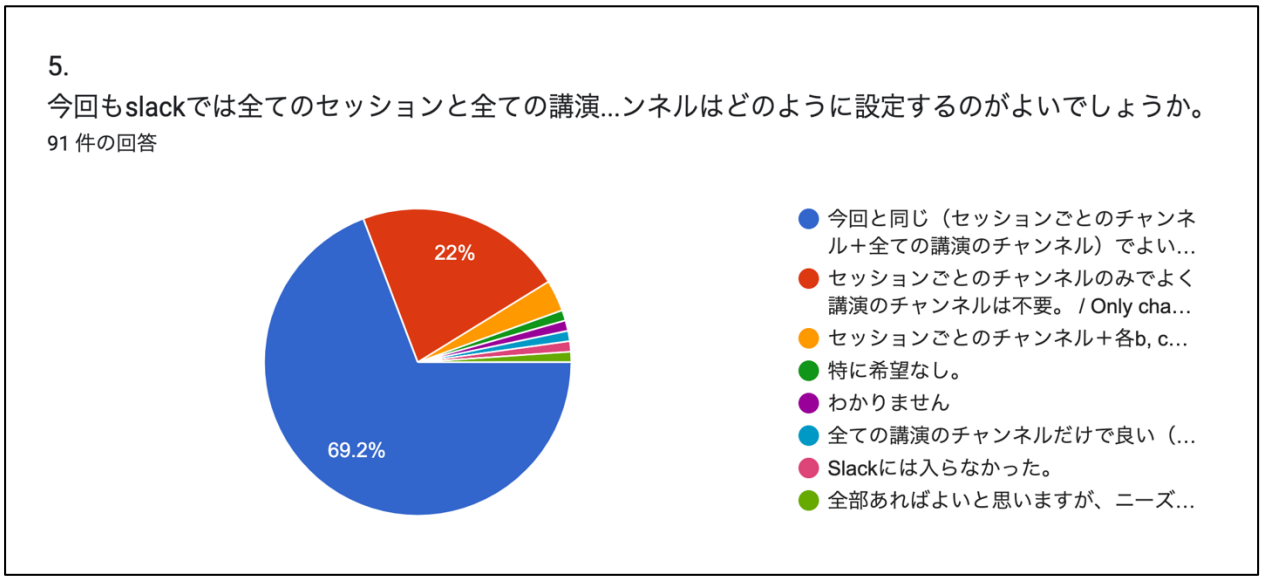


5. 今回も slack では全てのセッションと全ての講演にチャンネルを設定しました。もし今後、slack を使う場合、チャンネルはどのように設定するのがよいでしょうか。

講演者の回答

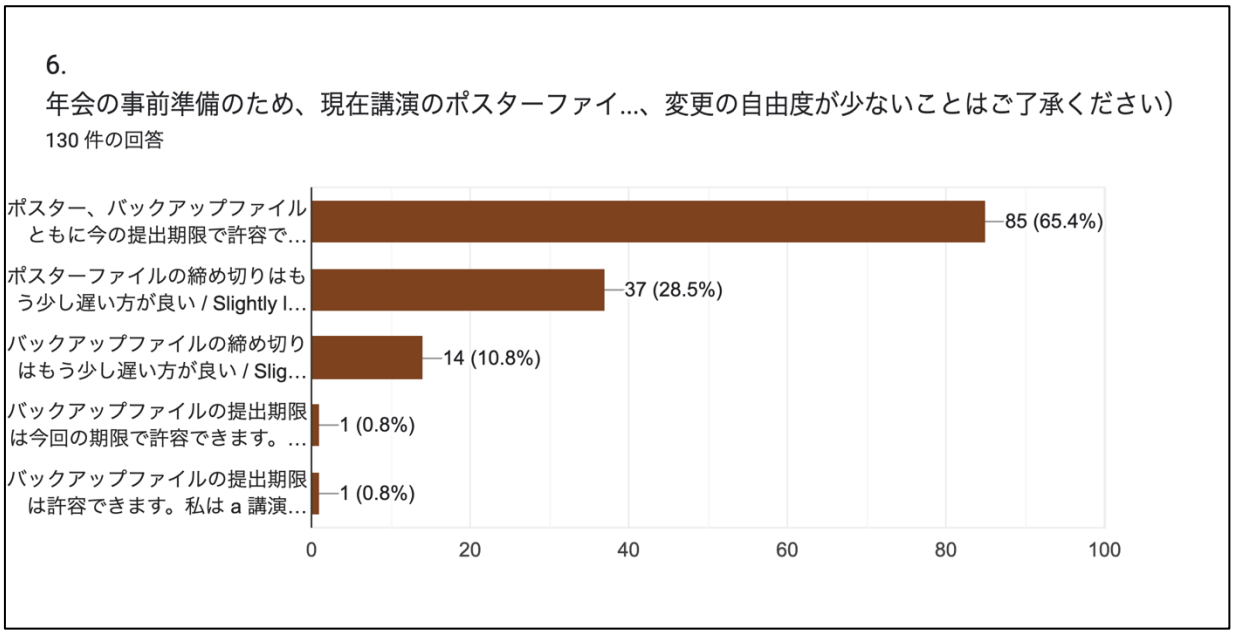


視聴者の回答

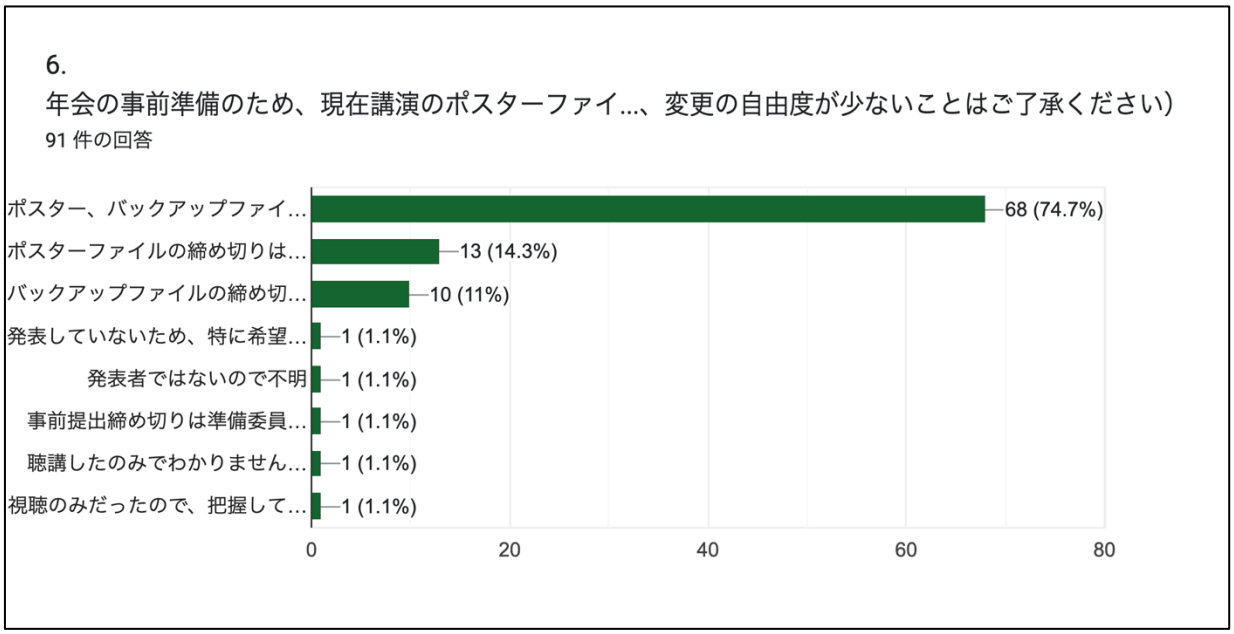


6. 年会の事前準備のため、現在講演のポスターファイル(1 週前)やバックアップファイル(前日)の事前提出をお願いしています。締め切りについては妥当でしょうか。(準備の都合上、変更の自由度が少ないことはご了承ください)

講演者の回答

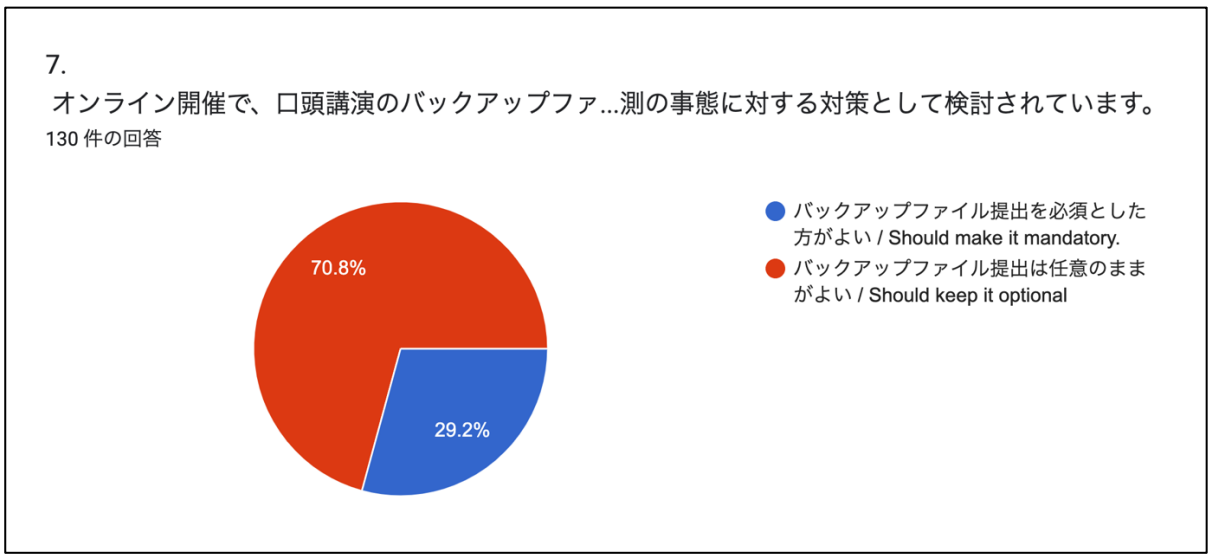


視聴者の回答

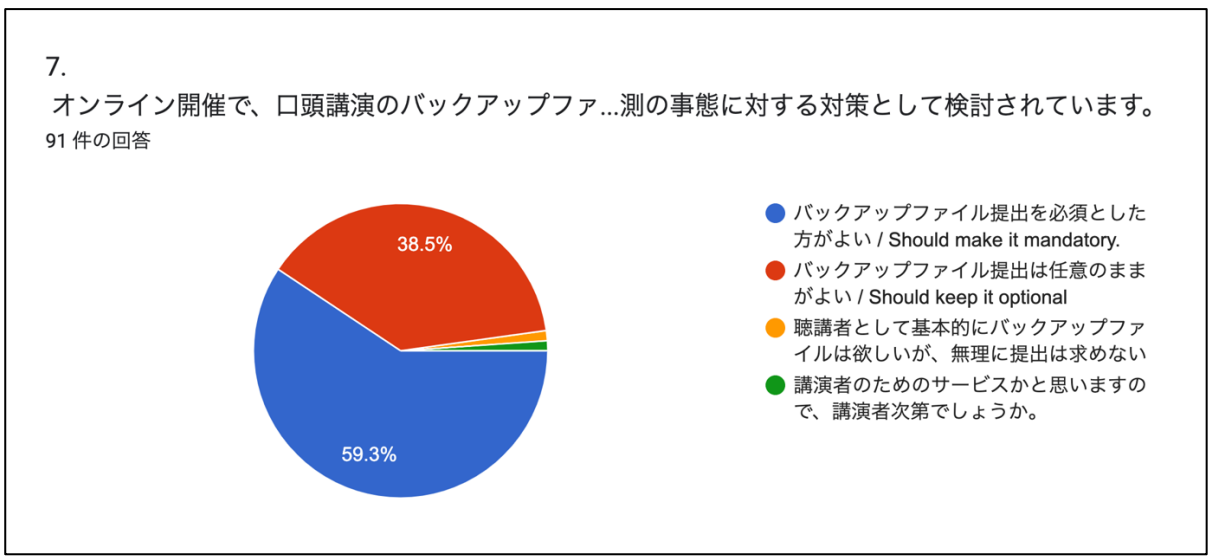


7. オンライン開催で、口頭講演のバックアップファイルの提出を必須とすることについてどう思われますか？事前チェックで防げない講演時トラブルが散見され、こうした不測の事態に対する対策として検討されています。

講演者の回答



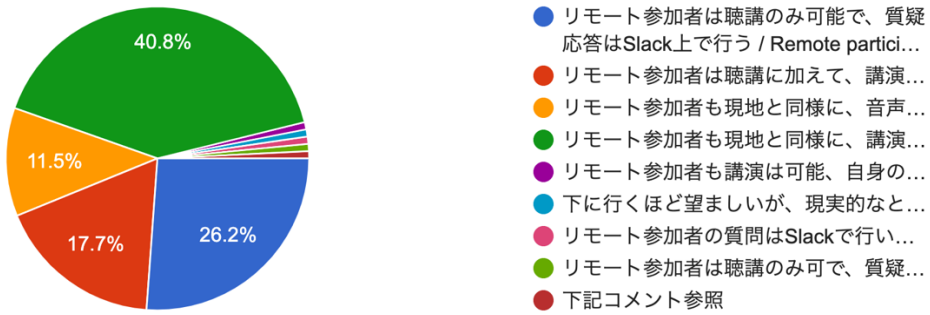
視聴者の回答



8. 今後の年会で、現地開催の場合でも一部をオンライン対応とするハイブリッド開催の試験を検討しています。どのような形態が適切と思われますか？最初の試行では、機材などの制約から、現地での質疑を優先する可能性があります。(具体的な開催地と実現可能性を議論して決定します)

講演者の回答

8.
今後の年会で、現地開催の場合でも一部をオンライ...的な開催地と実現可能性を議論して決定します)
130 件の回答

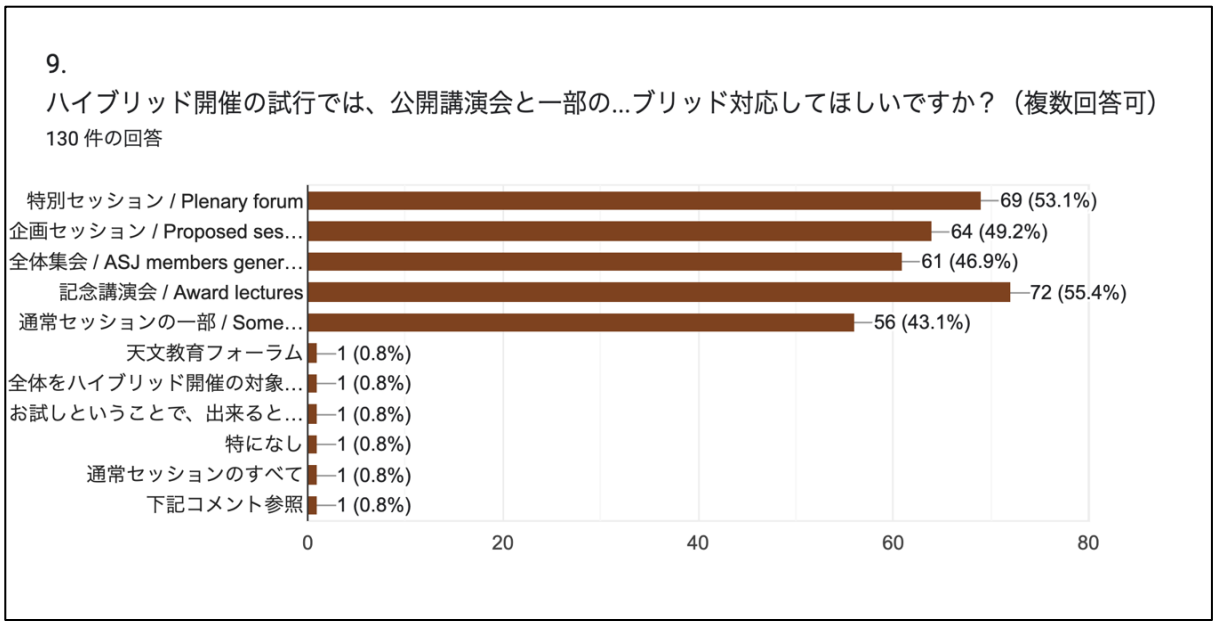


視聴者の回答

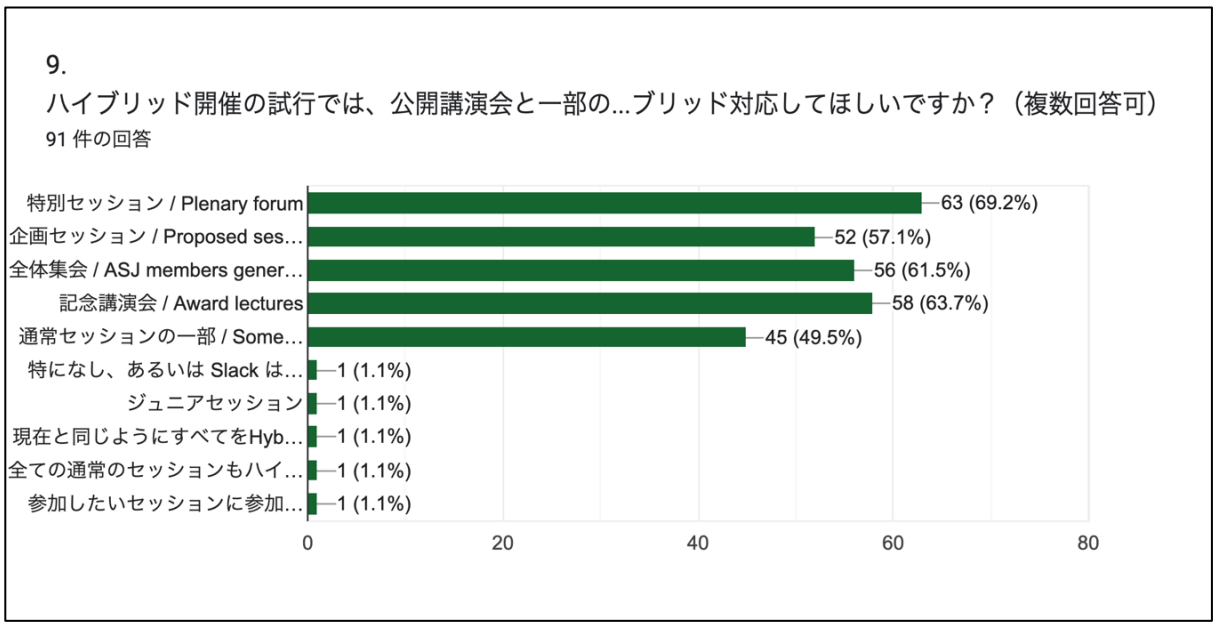
8.
今後の年会で、現地開催の場合でも一部をオンライ...的な開催地と実現可能性を議論して決定します)
91 件の回答

9. ハイブリッド開催の試行では、公開講演会と一部のセッションだけを対象とする予定です。どのセッションをハイブリッド対応してほしいですか？（複数回答可）

講演者の回答

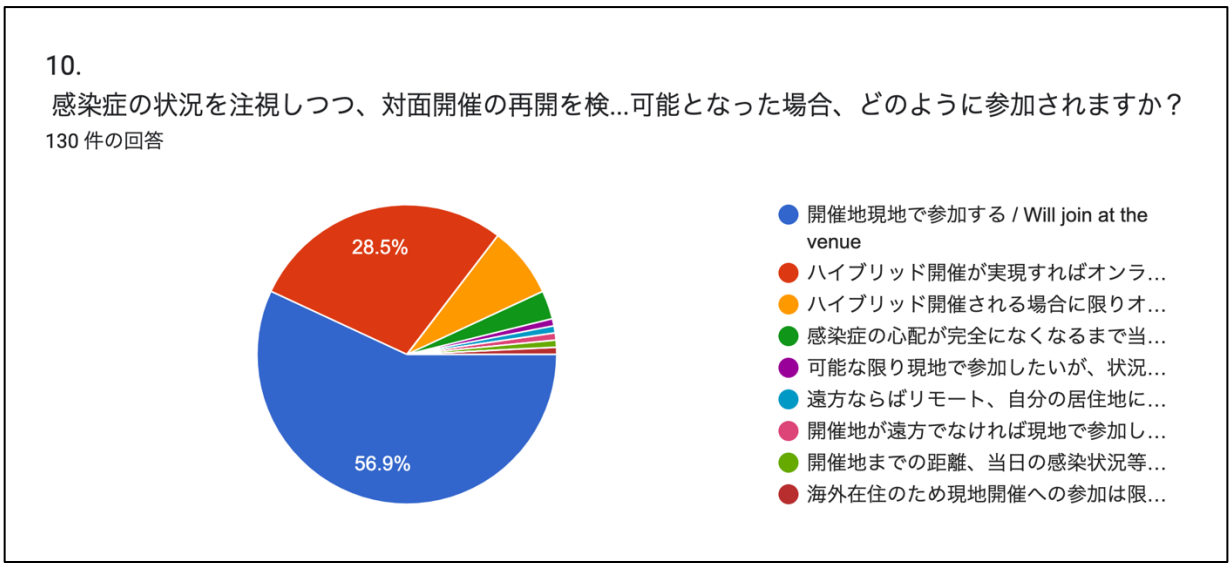


視聴者の回答

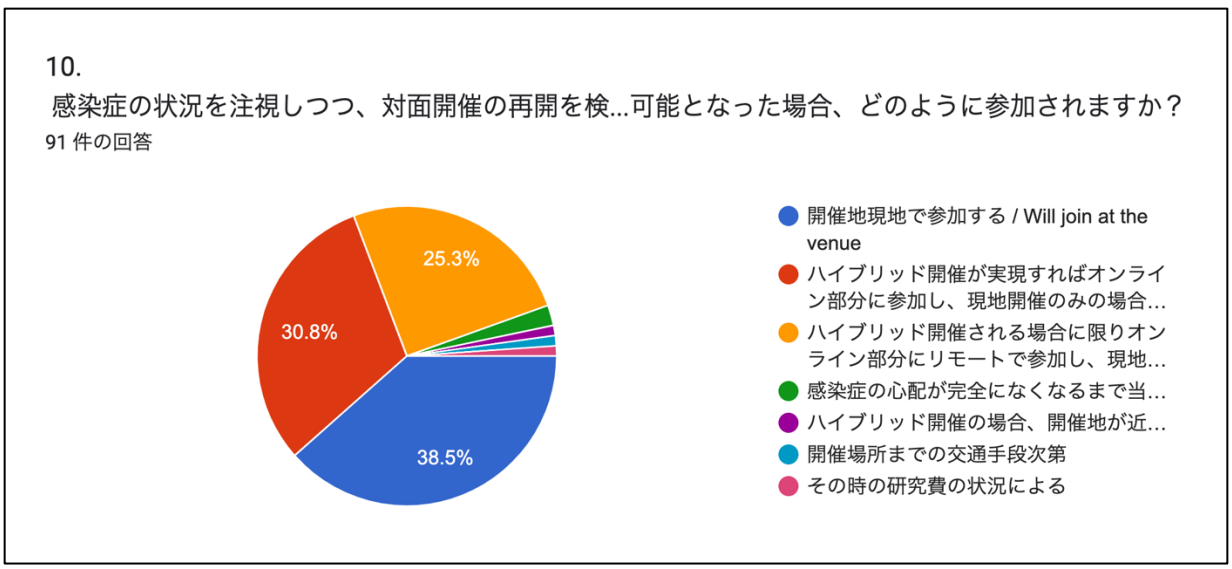


10. 感染症の状況を注視しつつ、対面開催の再開を検討しています。近い将来に対面開催が可能となった場合、どのように参加されますか？

講演者の回答

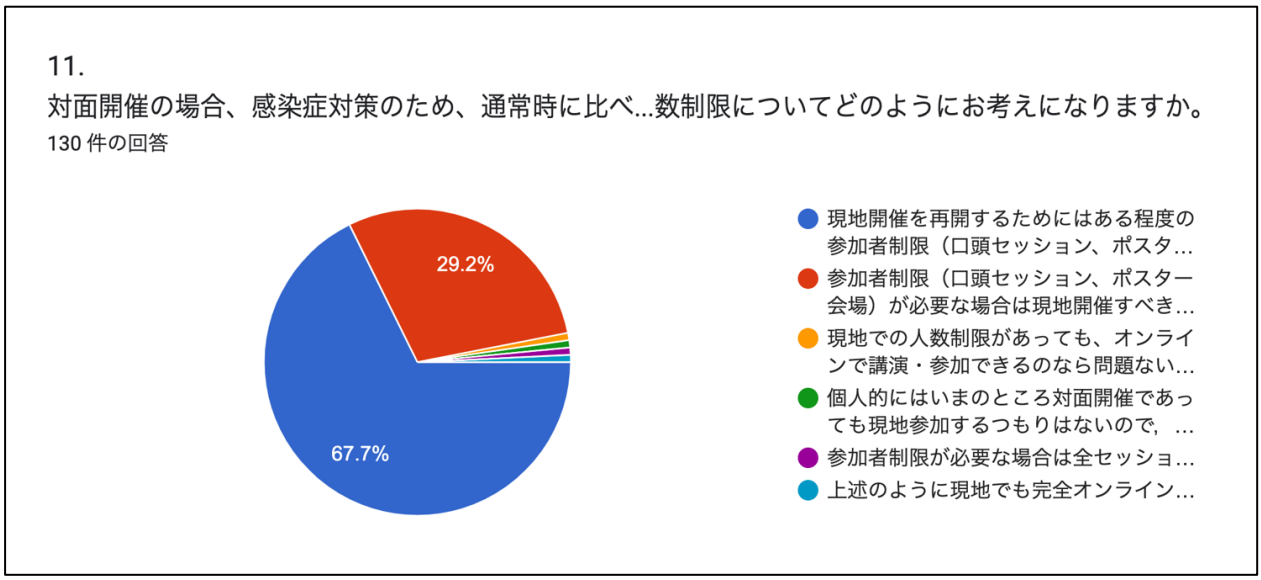


視聴者の回答

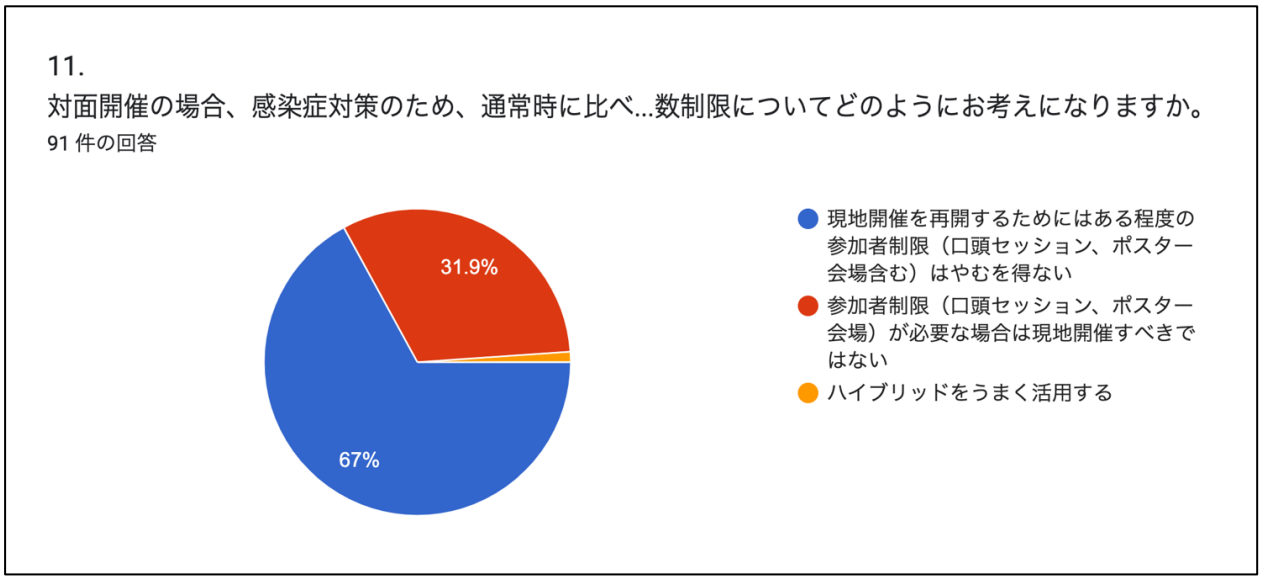


11.対面開催の場合、感染症対策のため、通常時に比べて会場の容量に制限があり、参加人数を制限せざるを得ない場合があります。人数制限についてどのようにお考えになりますか。

講演者の回答

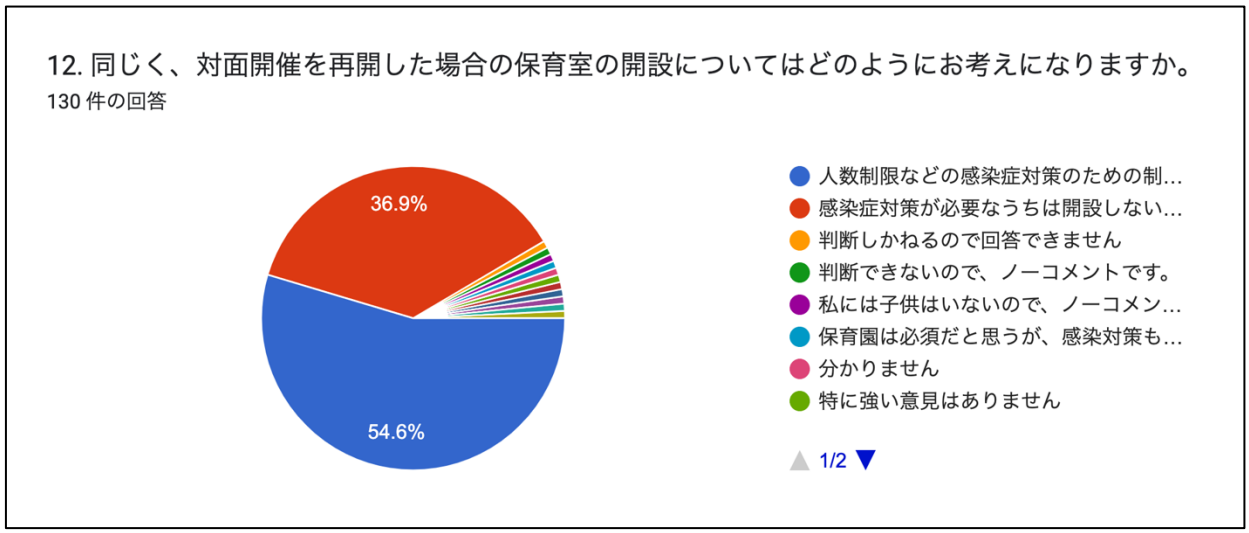


視聴者の回答

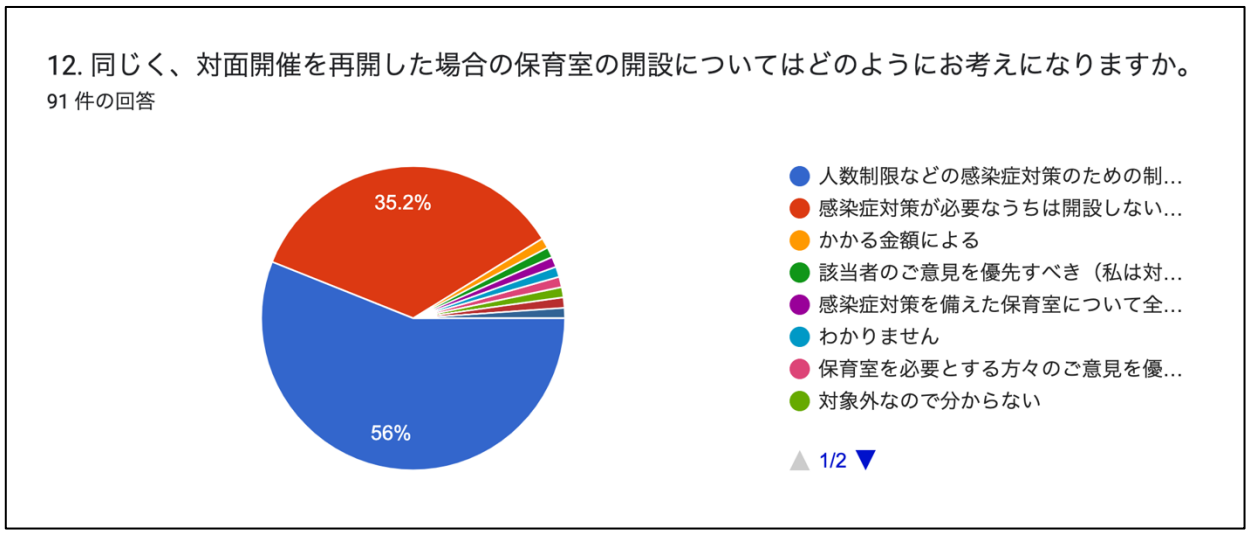


12.同じく、対面開催を再開した場合の保育室の開設についてはどのようにお考えになりますか。

講演者の回答

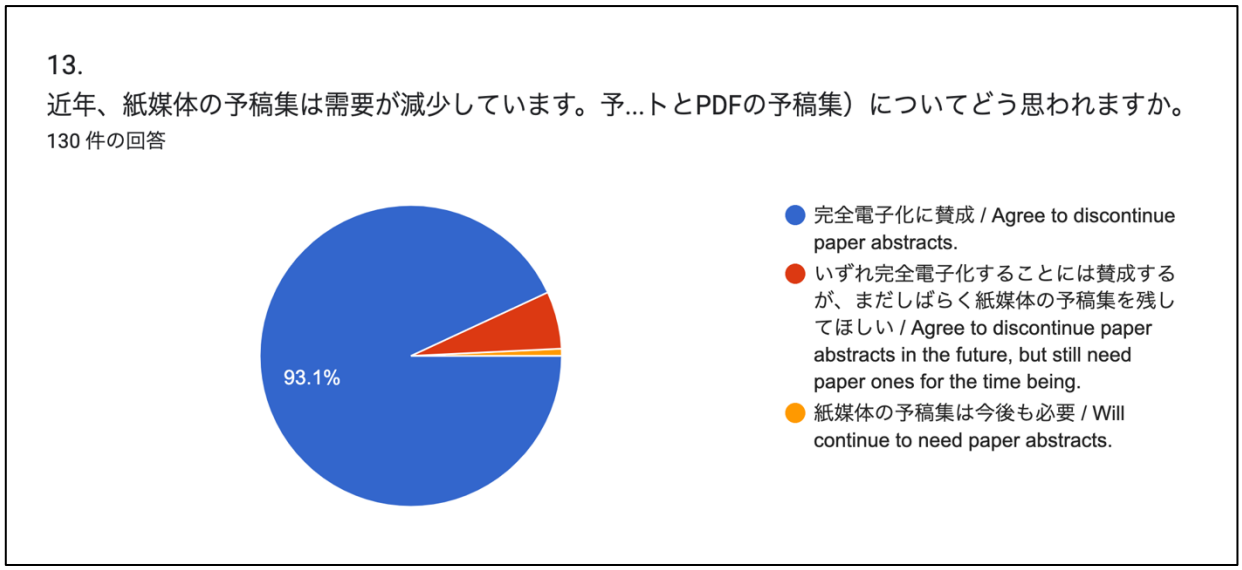


視聴者の回答

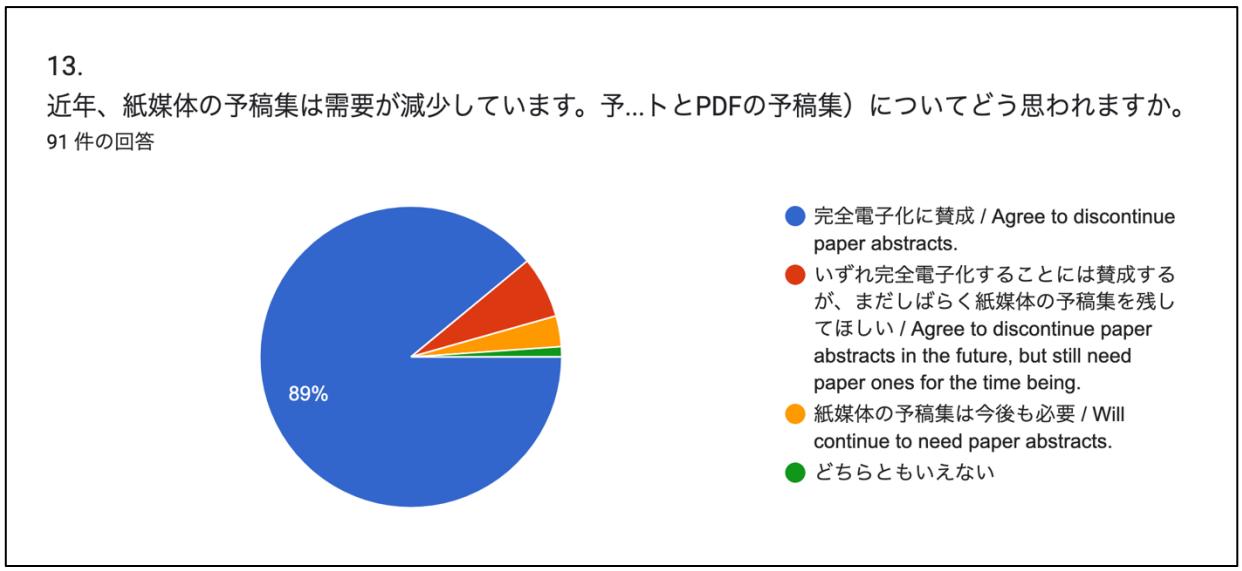


13.近年、紙媒体の予稿集は需要が減少しています。予稿集の完全電子化（ウェブの講演リストと PDF の予稿集）についてどう思われますか。

講演者の回答



視聴者の回答



その他、年会についてのご意見がありましたら下記にご記入ください。

－省略－

以上